

第2回学校運営協議会の記録

日時	平成30年7月10日（金）13:45～15:30	場所	祇園小会議室
出席者	熊田会長、鹿倉副会長、羽入委員、石川委員、服部委員、上野地域学校協働活動推進員、谷田部校長、膝附教頭、中川教務主任（記録）		
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度学校評価設問一覧（教師用） ・平成30年度学校教育診断項目（児童用）（保護者用） ・「下野市小中一貫教育推進ハンドブック（試案）」 ・「下野市の小中一貫教育」リーフレット ・南河内第二中学校区小中一貫教育全体構想（案）H30. 7. 10現在 ・スクールガード募集のチラシ「祇園小学校登校時の見守りボランティアしませんか」 ・「スクールガード活動のポイント」 		
【司会：熊田会長】			
<p>1 任命書交付 ※前回欠席者へ</p> <p>2 学校からの説明と質疑</p> <p>(1) 学校評価について</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 今年度の変更点を中心に、教頭から説明</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>○教職員による学校評価の項目は、経年比較するため大きくは変えていないが・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人としての取組と学校全体としての取組を区別して評価するようにした。 ・項目を、学校経営・知育・徳育・体育・各種指導という観点から整理した。 ・管理職者のかかわりや特別支援教育に関する項目を加えた。 <p>○児童と保護者の学校診断項目は、昨年度と同様。児童と保護者を比較できるよう、内容を揃えてある。</p> <p>○実施は11月。結果は2月の学校運営協議会のときにお知らせしたい。</p> </div> <p style="padding-left: 20px;">イ 質疑</p> <p>(熊田) 特別支援教育の視点は大切。その設問を加えたことはよいと思う。 保護者アンケートはすっきりとまとまっていてよい。あまり項目が多すぎると、保護者の負担感が大きい。</p> <p>(石川) 「診断」はどのように%を出すのか？</p> <p>(教頭) よくあてはまるA、ややあてはまるB、あまりあてはまらないC、あてはまらないDの4段階で、数値化する。</p> <p>(2) 小中一貫教育について</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 教務主任から説明</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>○下野市小中一貫教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでも、中学校区ごとに、教員同士、児童・生徒間の交流を図ってきた。 <p>○南河内第二中学校区小中一貫教育全体構想（案）について</p> <p style="padding-left: 20px;">* 長期ビジョン</p> <p style="padding-left: 40px;">「夢と希望をもち、たくましく未来を拓く児童・生徒の育成」</p> </div>			

*目指す子ども像

〈まなび〉主体的に考え、学び合いを通して互いに高め合える子ども

〈こころ〉思いやりの心を持ち、自他を大切にできる子ども

〈からだ〉心身の健康に関心をもち、たくましく実践できる子ども

〈ちいき〉社会に貢献し、地域に主体的に参画しようとする子ども

*めざす子ども像に向けて実践・推進していく部会

- ・深い学びチーム
- ・学業指導チーム
- ・授業研究チーム
- ・道徳チーム
- ・総合カリキュラムチーム
- ・心身の健康推進チーム
- ・子ども未来プロジェクト
- ・二中学区児童生徒指導連絡会議

イ 校長から、学校運営委員会にお願いしたいこと

○小中一貫教育の中の「地域」の部分でご協力願いたい。

- ・子どもたちが、自分のふるさとに愛着をもってもらいたい。
- ・本地区は、核家庭が多い。いろいろな人との出会い、ふれあいを多くしたい。
- ・子どもに関わることをきっかけに地域づくりが進めば、子どもにとっても、地域住民にとっても、安心して住みやすい地域になると思う。

○例えば、どのようなボランティアがいるのか、各学校で探すのではなく、中学校区でボランティア名簿等を作り、共通に関わっていただけるようにできないだろうか。

コーディネートをする人が必要になるが。

- ・安全ボランティアを募るために、グリーンクラブの代表者をお願いしたところ、チラシを作って自治会に呼びかけてくださった。ようやく1人協力してくださる人があったが、多くを集めるのは難しい。せめて、登下校の時間に合わせて散歩するなどして、地域全体の気運が高まるとありがたい。

ウ 質疑

(鹿倉) スクールガードとなると、(休めないなど) 責任を感じるので、自主的に(自由に) やりたいという人がいた。

(服部) 子どもが見知っている人が増えるのは子どもにとっても安心。地域が温かい感じがする。

(上野) 小中一貫教育は、地域を巻き込んだ取組が必要。そのため、学校運営協議会の働きが重要である。いろいろな人に関わり、子どもが地域の人を知ることが、温かい安心感のある地域につながる。小中一貫教育を常に念頭に置きながら、この会議を進めるとよい。学校のために何ができるのか、どんな人材がいるのか、互いの取組を共有し合えるとよい。スクールガードがよいきっかけづくりになる。

(熊田) 本当に、3校で一緒に話し合えるとよい。ボランティアを共有するためにも。他校の学校運営協議会委員に伝えようと思う。

(上野) 母体が大きくなると難しい。まずは、3校がそれぞれの特色を生かして取り組み、情報交換をしながら少しずつ連携を図っていけばよいと思う。

3 協議

(1) 学校の教育活動についての支援・参画について

ア ギオンジャー

(羽入) ギオンジャーは、卒業生の保護者で、在校生の保護者で足りないところを補う活動をしている。給食白衣修繕、夏休み図工作品整理、持久走大会の安全協力、家庭科ミシンボランティアなどをやっている。ギオンジャーのメンバーへの連絡上、1ヶ月前には予定を教えていただけるとありがたい。

イ 草取りの協力

(中川) 親子美化活動への参加者が少ない。

(服部) 参加しやすい日程を組んだり、親子での参加を呼びかけたりしているが。

(羽入) 草取り協力を、二中学区で日時を揃えてはどうか？

(中川) 小中で重なると、兄弟がいる場合難しい。

(服部) 地域全体での美化活動としてはどうか？緑小では、美化活動を登校班と一緒に登校して、親子で実施している。ペンキ塗り・修繕などを入れて、父親も巻き込んでいる。二中学区のクリーン活動とともに地域に回覧板をまわすか？

(鹿倉) まずは地域への発信が必要。いつから始めるか？9月の草取り？11月の落ち葉拾い？安全面も考えた方がよい。地域にどんな人がいるのか？

(石川) なぜ地域に草取りを呼びかけるのか、趣旨をしっかりと理解していただく必要がある。

(熊田) 地域に開かれた学校という視点からか。

(2) 学校、家庭及び地域における教育課題解決について

ア キンボール、ソフトバレー

(服部) 5・6年生の学年PTAレクリエーションで行うことになった。夏休み明けから、浅和さんとの調整を行う予定。

イ スクールガード

(熊田) 児童の安全確保のためだけでなく、学校に関心をもっていただくよいきっかけになる。登録をしたら毎日やらなければならない人がいて、なかなか集まらない。ボランティアなので、「やれるときにやれる人が」でよいのに。

(石川) スクールガードとして組織だっているのではないのか？

(鹿倉) 以前は100人を超えていた（事件等があったので）が、児童数が減り保護者数も減った、共働き家庭が増えたなどで、やれる人は減っている。

(服部) フリーの保護者もいるので、緑のベストを配りたいと考えている。ベストが（犯罪等の）抑止力になる。

(石川) 学校と地域とがウィンウィンの関係でなければ、難しい。学校が地域のためにできることも考えなければ。

(熊田) 子どもたちの笑顔から、若さのエキスをもらっている！

(服部) 地域を巻き込むためのきっかけとなるものを、PTAとしても考えたい。

4 その他

- ・次回までに、①スクールガードの人数、②草取りの協力について調べておく。(熊田)

